

Shinto News

2026.1

第86号

令和
8年

新年ご挨拶

新年あけまして
おめでとうございます



旧年中は、当院の運営に格別のご高配・ご支援を賜り、誠に有難うございました。
新年を迎え、皆様のご健勝と益々のご活躍をお祈り申し上げます。

昨年は、昭和100年、戦後80年という節目の年でもありました。海外ではウクライナ侵攻や中東の紛争が続く中で、トランプ政権の発足と相互関税、国内では記録的な猛暑と物価高騰、大船渡市や大分市の大規模火災、コメ価格高騰と政府備蓄米の放出、「ミスタージャイアンツ」と呼ばれた長嶋茂雄さん死去、大阪・関西万博開催、クマ被害と緊急銃猟、憲政史上初の女性首相誕生と「存立危機事態」、坂口志文大阪大学栄誉教授と北川 進京都大学特別教授のノーベル賞受賞、など国内外で様々な事象が続発しました。

2026年の干支は「丙午（ひのえ・うま）」ですが、十干の「丙」と十二支の「午」が組み合わさった干支の一つで、60年に一度巡ってきます。この年は情熱や変化を象徴し、特に「丙」は陽の「火」を表し、明るさや強い意志を象徴します。丙午には、「情熱と行動力で突き進む」「燃え盛るようなエネルギーで道を切り開く」といった縁起のよさが表され、情熱的でパワーのある年とされています。

高齢者人口の増加や高額医薬品の増加・材料費の高騰などによる医療費の増加傾向に加えて、昨今の記録的な円安、物価高騰・賃上げ、人手不足な

どの医療機関等を取り巻く環境が一段と厳しさを増している中で、患者さんの高齢化やコロナ後の受診行動の変化を踏まえた今後のあるべき医療提供体制の構築を図ることが重要です。そのためにも、緊急財政措置と診療報酬の大幅引き上げが切望されます。一方で、医療保険制度改革として、高齢者医療を巡る負担の在り方の議論が本格化しており、「世代内、世代間の公平の更なる確保による全世代型社会保障の構築」が論じられています。加えて、高額療養費制度のあり方やOTC類似薬を含む薬剤自己負担の見直しも検討されています。

当院でも相変わらず厳しい運営状況が続いていますが、当院の立ち位置と果たすべき役割を改めて認識して皆様との更なる連携強化を図り、地域の中核病院としてお役に立てるよう、職員一同総力を挙げて頑張っております。

本年も倍旧のご支援・ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

2026年（令和8年）元旦

理事長 藤山 重俊

理念

私たち
くまもと森都総合病院は
質の高い医療を通じて
地域に愛され、親しまれる
病院を目指します。

基本方針

1. 患者さんとの良好なパートナーシップを築き、満足度の高い、心かよう医療の提供に努めます。
2. 地域医療機関との連携を密にし、地域に根ざした医療サービスを推進します。
3. 優れた医療人を育成し、安全で質の高い医療を提供します。



KUMAMOTO
SHINTO
General Hospital

つながる医療。ひろがる未来。

医療法人 創起会

くまもと森都総合病院

〒862-8655 熊本市中央区大江 3-2-65
TEL 096-364-6000 (代表)
FAX 096-362-5204
<https://www.k-shinto.or.jp>

令和
8年

新年ご挨拶

新年を迎えるにあたり
皆様にはますますご清祥のことと
お慶び申し上げます



今年はいよいよ診療報酬改定の年となります。

ここ数年の物価高騰や人件費の上昇により、大病院を含め多くの医療機関が厳しい経営状況に置かれており、日本医師会や四病協からは、本体部分について10%を超える大幅な引き上げが要望されています。補助金による一時的な下支えは想定されるものの、「現役世代の保険料負担を抑制する」という連立政権の方針と、「診療報酬を引き上げてほしい」という医療側の声との間で、どのような着地点が見いだされるのか、私どもとしては不安を抱きつつ見守らざるを得ない状況です。

とはいえ、新年のご挨拶から暗い話題ばかりでは先行きがさらに不安になりますので、今できることに前向きに取り組むべく、本年度の当院の体制についてご説明申し上げます。当院は今後も変わらず、がん診療に力を注いでまいります。血液内科、乳腺センター、肝臓・消化器内科、外科における手術・化学療法は、腫瘍内科の強力なサポートのもと、本年も引き続き充実した診療提供に努めてまいります。緩和ケアにつきましても、従来は入院医療が中心でしたが、外来機能を一層充実させ、がん発症早期から切れ目のない緩和医療を提供できる体制づくりを進めてまいります。

昨年度から3名体制に拡充した総合診療科は、呼吸器内科部長を兼務する吉田知栄子部長のもと、次期診療報酬改定でも重要なテーマとなる誤嚥性肺炎をはじめとした高齢者救急に的確に対応できるよう、地域包括ケア病棟を有効に活用しつつ、皆様からのご紹介に迅速にお応えできる体制をさらに整備してまいります。

新年度に残された大きな課題は病院のDX推進です。当院では、いまだ職員間の情報伝達にPHSを使用しており、かねてよりスマートフォン（iPhone）導入を検討してまいりましたが、導入費用や維持費とのバランスを踏まえると、なお慎重な判断を要する状況にあります。とはいえ、国としてDX推進が強く求められていることも踏まえ、今年こそは具体的な導入に向けて一歩踏み出したいと考えております。

当院は今後も、がん診療と高齢者救急を二本柱として地域医療の継続・発展に努め、地域の皆様が必要とされる病院であり続けたいと考えております。引き続き、これまで以上に密接な病診連携を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

院長 鈴島 仁

AI画像診断支援の普及と画像診断診療

放射線科部長 幸 秀明



近年、医療分野におけるAI（人工知能）技術の進歩は目覚ましく、画像診断領域もその恩恵を強く受けています。一方で、「AIが進歩すれば放射線科医は不要になるのではないか」という見方も依然として耳にします。2016年、AI研究の第一人者である Geoffrey Hinton 氏が「5年以内にAIが放射線科医を上回るため、放射線科医の教育は不要になる」と発言し、米国では実際に放射線科志望者が減少した時期もありました。しかし、その後の議論や臨床現場での技術運用を踏まえると、この認識は誤解に基づくものであることが明らかになりつつあります。

確かに、AIは胸部X線やCT画像における結節検出など、比較的単純なパターン認識において高い性能を示します。現在、日本で承認されているAI画像診断補助ソフトウェアの多くは「セカンダリー型」であり、医師の読影後に解析結果を提示する仕組みです。この段階においてAIは、病変候補を指摘する有用なツールとなります。しかし、AIが示した結果をそのまま「診断」とすることはできません。患者さんの症状、背景疾患、検査目的、過去画像といった多角的な情報を統合し、治療へ直結する判断を下すプロセスは、依然とし

て医師の専門性に依存しています。また、AI導入が読影業務を必ずしも効率化するわけではありません。セカンダリー型では読影手順が増えるうえ、過検出への評価負担も加わります。さらに、大量データを送信して解析結果を待つ時間が生じ、かえって業務効率が低下するケースもみられます。効率化が期待される「ファーストリーダ型」は、AIが医師より先に病変候補を提示する方式ですが、診断責任の所在という観点から現時点での臨床現場での実現は難しい状況です。最終的に責任を負うのは医師であり、AIや開発者が責任を担う構造ではない以上、慎重な運用が求められます。

一方で、AIは一次診療における画像診断体制を確実に支援しつつあります。胸部X線やCTなど画像AIを組み合わせることで、異常を早期に指摘することで、従来見逃されやすかった症例を適切な時期に専門病院へ紹介できることが可能となり、地域医療の質向上にとって極めて重要な動きと考えられます。さらに、撮影条件の最適化や検査品質の均一化など、AIは画像取得段階での支援にも活用が進んでいます。今後は、AIの能力と限界を正しく見極め、臨床現場に実装していくことが今後の画像診断医療に求められると考えます。





写真左から 田嶋ルミ子部長、横山幸生診療顧問・部長

診療科紹介 外科

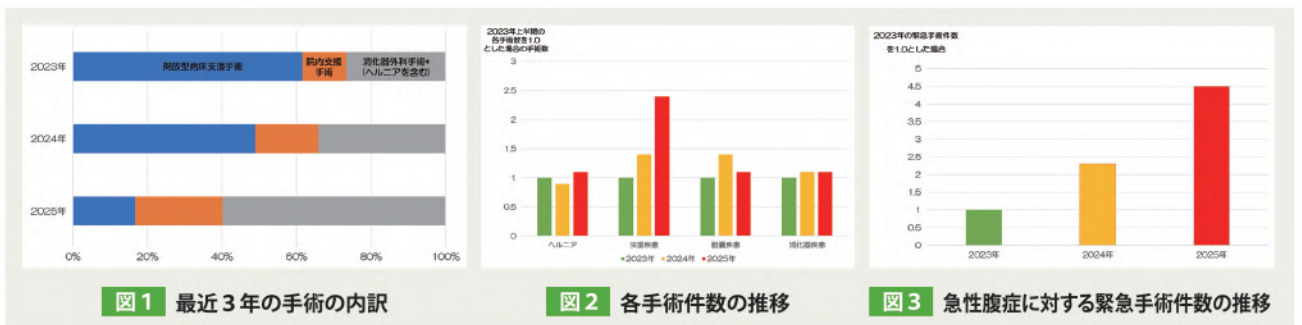
あけましておめでとうございます。くまもと森都総合病院へ赴任して4年目になりました。この間で最も大きな出来事は藤好 建史先生のご逝去に伴い、藤好クリニックとの連携が終わりを迎えたことです。藤好先生には、痔疾患について更に深く学ばせていただきました。改めてお礼を申し上げたいと思います。外科としては変わらず、私と田嶋外科部長の2人体制でやっておりますが、過去3年間の手術についてご報告させていただきます。

原稿の締め切り期限の関係で、各年1月から11月までの手術件数で分析しました。一昨年11月にもお伝えしましたが、開放型病床連携施設の肛門疾患手術支援、院内診療科の診療支援に関わる手術、ヘルニアを含む消化器外科手術という括りで見ると図1です。過半数を占めていた肛門疾患（青）は激減しました。冒頭に述べた開放型病床の肛門手術件数が大きく影響しておりますが、この余白を埋めるかのように院内診療科の診療支援に関わる手術は微増、消化器外科手術数は増加しています。

2023年に行った各手術件数を1（緑）とした場合、ヘルニアは0.9：1.1と変わりませんが、虫垂炎は1.4：2.4と増え、胆嚢疾患は1.4：1.1、胃大腸他中難度手術以上の疾患は1.1：1.1と微増しておりました（図2）。特に、ご紹介による急性胆嚢炎・急性虫垂炎などの緊急手術件数は2.2：4.5と明らかに増加しておりました（図3）。病診連携の賜物、関係部署の協力によるものと考えます。当科も手術だけでなく、術後急性期を過ぎて自宅復帰までと一歩の患者さんを、サポートすることも連携の一環として重要と考えます。当院のリハビリ部門、栄養課はやる気に溢れ、頼りになりますので、当院近隣に在住の患者さんでご支援できることがあれば、地域連携室までご相談ください。

今後も、丁寧な手術と病院の総力を活用した診療を心がけ、“森都に紹介してよかった”と言っていただけのような努めたいと思います。

（診療顧問/外科部長 横山 幸生）



『第45回 Shinto公開医学講座』のご案内

テーマ ドラッグ・ラグ、ドラッグ・ロスについて考える

日時 2026年1月15日(木) 17:30~

開催方法 ハイブリッド開催 (Web参加も可能です)

場所 くまもと森都総合病院 5F 大会議室

参加方法 下記 URL もしくは QR コードよりお申し込みください。お申し込み確認後、招待メールをお送りさせていただきます。
(<https://bit.ly/4ps54gj>)

講師 乳腺外科 部長 中野 正啓





1

外来予約依頼書を当院へFAXをお願いします。

外来予約依頼書を当院地域医療連携室へFAX (096-364-8585) ください。所定書式を準備しております。当院ホームページからダウンロードも可能です。

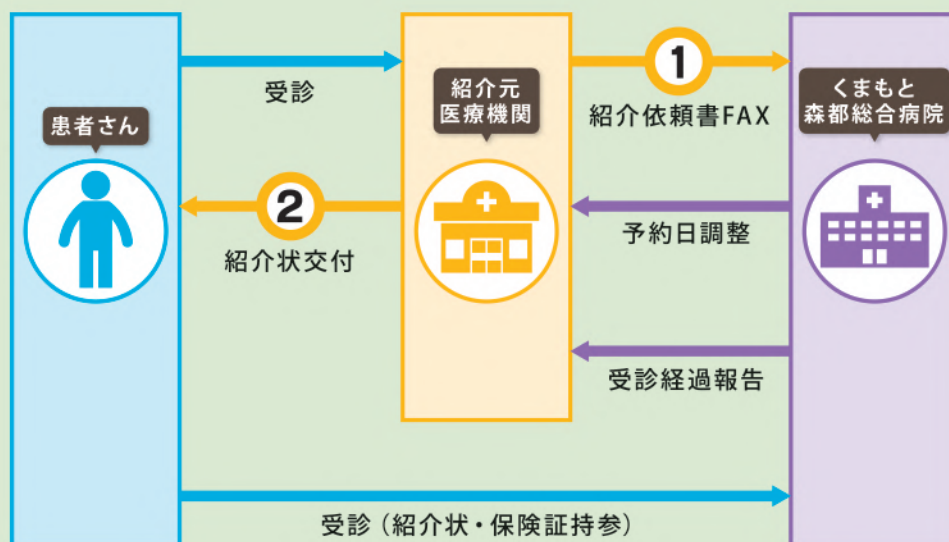
<https://www.k-shinto.or.jp/> トップページ > 医療関係者の方へ > 患者紹介について

2

患者さんへ紹介状をお渡しいたしますようお願いいたします。

受診予定日が決まりましたら貴院へ予約票をFAXさせていただきます。

患者さんに紹介状(診療情報提供書)をお渡しいたし、受診当日にご持参いただけますようご案内をお願いいたします。



紹介予約 (FAX予約) 受付時間

平日9時00分から16時00分まで

FAX送付先 地域医療連携室

FAX 096-364-8585

※受付時間外にいただきましたFAX紹介につきましては、翌診療日に予約調整とさせていただきます。

電話紹介 について

緊急性が高く、当日受診が必要な患者さんのご紹介はお電話にてお願いいたします。

ご不明な点につきましては下記までお電話くださいますようお願いいたします。

地域医療連携室 Tel.096-364-9790 Fax.096-364-8585

受付時間 午前 8:00 ~ 11:00 (再来機の受付は7:30より開始) ※急患はこの限りではございません

2026年1月1日現在

		午前/午後	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
内科診療：午前〔初診及び再診〕・午後〔再診のみ〕							
総合診療科	午前		濱 諒輔 初診	吉田 知栄子	宮村 智裕	吉田 知栄子	宮村 智裕
	午後		宮村 智裕 再診	濱 諒輔			濱 諒輔
呼吸器内科	午前			吉田 知栄子		吉田 知栄子	
	午後				宮村 智裕 再診		
肝臓・消化器内科	午前		藤山 重俊 袖留木 秀人	宮瀬 志保 泉 見奈	藤山 重俊 束野 奈津己	宮瀬 志保 束野 奈津己	袖留木 秀人 泉 見奈
	午後		宮瀬 志保 束野 奈津己	束野 奈津己 袖留木 秀人	宮瀬 志保 袖留木 秀人	袖留木 秀人 泉 見奈	泉 見奈 束野 奈津己
内視鏡担当	午前		泉 見奈		泉 見奈		
	午後						
血液内科	午前		藤原 志保 坂田 宗一郎	藤原 志保 鈴島 仁	下村 泰三 渡邊 祐子	藤原 志保 渡邊 祐子	下村 泰三 宮川 寿一
	午後		下村 泰三	宮川 寿一 渡邊 祐子		宮川 寿一 鈴島 仁	坂田 宗一郎
腫瘍内科	午前		山本 春風	采田 志麻		采田 志麻	山本 春風
	午後			山本 春風			采田 志麻
循環器内科	午前		中西 信博		中西 信博	中西 信博	中西 信博
	午後		中西 信博		中西 信博		
腎臓内科	午前					井上 秀樹	井上 秀樹
	午後		井上 秀樹				
透析室	午前		井上 秀樹	井上 秀樹	井上 秀樹	井上 秀樹	井上 秀樹
	午後		井上 秀樹	井上 秀樹	井上 秀樹	井上 秀樹	井上 秀樹
リウマチ 膠原病内科	午前		高岡 宏和 初診	高岡 宏和 再診		高岡 宏和 再診	
	午後				高岡 宏和 再診		
代謝・内分泌内科	午後				有馬 由佳 (熊大) 再診		
外科	午前		横山 幸生 田嶋 儿ミ子	手術	横山 幸生	横山 幸生	田嶋 儿ミ子
	午後		手術 検査	手術	手術 検査	手術 検査	検査
乳腺センター (乳腺外科)	午前		初診担当医 再診	手術	初診担当医 再診	手術	初診担当医 再診
	午後		大佐古 智文 中野 正啓	大佐古 智文 中野 正啓	大佐古 智文 中野 正啓	大佐古 智文 中野 正啓	大佐古 智文 中野 正啓
	午後		藤末 真実子	藤末 真実子	藤末 真実子	藤末 真実子	藤末 真実子
産婦人科	午前		永井 隆司 岡島 翠	永井 隆司 岡島 翠	永井 隆司 岡島 翠	永井 隆司 岡島 翠	永井 隆司 岡島 翠
	午後		片淵 秀隆 (女性相談外来) 手術	片淵 秀隆 (女性相談外来) 手術	手術	片淵 秀隆 (女性相談外来) 手術	永井 隆司 (予約) 岡島 翠 検査
整形外科 (完全予約制)	午前			砥上 若菜 再診	高田 興志 再診		
	午後		担当医 再診				
リハビリテーション科	午前					細川 浩 再診	
眼科 (完全予約制)	午前		草野 雄貴 藤崎 雅彦	草野 雄貴 藤崎 雅彦	草野 雄貴 藤崎 雅彦 (9:30 診療開始)	手術	草野 雄貴 藤崎 雅彦 (9:30 診療開始)
	午後		松本 光希	松本 光希 (9:30 診療開始)		手術	
	午後		手術	担当医 再診	手術	手術 松本 光希	手術
皮膚科 (完全予約制)	午前		一期崎 優季 松山 恵里奈	池田 勇 松山 恵里奈	池田 勇 一期崎 優季	一期崎 優季 城野 昌義 再診	池田 勇 松山 恵里奈
	午後			手術		回診	手術
緩和ケア科 (外来)	午前		橋口 清明	橋口 清明	橋口 清明	橋口 清明	橋口 清明
緩和ケア面談	-		橋口 清明	橋口 清明	橋口 清明	橋口 清明	橋口 清明
腫瘍精神科	午前		木下 裕子	木下 裕子	木下 裕子	木下 裕子	
麻酔科 ペインクリニック (完全予約制)	午前		洲崎 祥子 田口 裕之 (術前診療)		田口 裕之 洲崎 祥子 (術前診療)		田口 裕之 田口 裕之 (術前診療)
	午後						田口 裕之
禁煙外来 (予約制)	午前						田口 裕之
放射線科 (幸秀明・西東葉子)	午前		担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
	午後		担当医	担当医	担当医	担当医	担当医